

### 第3回 「八都県市青少年を守るためのゲームソフトに関する協議会」の結果概要

#### 1 日時・場所

平成21年1月26日（月）14時00分～15時50分 都道府県会館402会議室

#### 2 参加者

別添 座席表のとおり

#### 3 概要

##### (1) 各構成員の最近の取組状況について

(CERO)

審査タイトル数によるレーティング区分の分布等について説明がなされた。

(CESA)

小冊子「テレビゲームのちょっといいおはなし・5」による年齢別レーティング制度の周知啓発等について説明がなされた。

(日本テレビゲーム商業組合)

加盟店での保護者への「告知案内文」による年齢別レーティング制度等の周知啓発について説明がなされた。

(TSUTAYA)

店頭POSシステム機能の強化による取組等について説明がなされた。

(ドン・キホーテ)

Z区分ゲームソフトの社内関係者への周知の取組等について説明がなされた。また、「店頭POPがあればやりやすい」との発言があった。

(埼玉県)

チラシ「全国青少年健全育成強調月間」によるZ区分ゲームソフト等の周知啓発について説明がなされた。

(神奈川県)

「団体表示図書類」制度の施行(H20.10.1)後の取組について説明がなされた。

(千葉市)

青少年補導センター情報誌「フェアウェイ」による年齢別レーティング制度の周知啓発について説明がなされた。

##### (2) 協働取組の状況について

前回まとめた協議会の協働取組の状況として、東京ゲームショウ2008における周知活動及び八都県市のHPを活用した普及啓発の状況について報告がなされた。

##### (3) 青少年を取り巻くゲームソフトの状況等について

ア 消費者・保護者への周知啓発活動の状況について

販売店における周知啓発物の作成について、「単独の団体名ではなく、協議会の連名で行ってはどうか」との発言があった。

イ 最近のZ区分ゲームソフトの販売状況について

各量販店から、Z区分の販売状況に関する情報が提供された。

ウ 販売店等における自主規制の取組上の課題について

「Z区分ゲームソフトの区分陳列方法の取扱いの統一が望ましい」との発言があった。

エ 「テレビゲームとレーティングの社会的受容に関する調査」(CERO)の提言の取扱いについて

前回の協議会で報告があった標記調査における「9つの提言」に係る取組の状況等について説明がなされた。

##### (4) その他

- ・ 「ゲーム産業の現状について」CESAから説明がなされた。
- ・ 次回は、平成21年8月頃開催する。(予定)